WEEKLY REPORT

国際ロータリー第2600地区　上田ロータリークラブ
（創立1959年11月12日）

2023-2024年度 国際ロータリーテーマ
世界に希望を生み出そう

R.I.会長　ゴードンR・マッキナリー
国際ロータリー第2600地区　ガバナー　折井 正明

2023-24年度 上田ロータリークラブ
●会長　林 秀樹　●副会長　三井 英和・酒井 喜雄
●幹事　飯島 幸宏　●会報委員長　斉藤 達也

Rotary　世界に希望を生み出そう

上田ＲＣ・丸子ＲＣ合同例会

第２９１９回例会（令和５年８月28日）

ホームページQR

［ゲスト紹介］　丸子ＲＣ　田中利幸　会長

◆国際ロータリー第2600地区
　ガバナー　折井正明 様
◆国際ロータリー第2600地区
　会計長　日石博之 様
◆東信第二グループ
　ガバナー補佐　西入悦雄 様

［ガバナー補佐挨拶］　西入悦雄　ガバナー補佐

［会長挨拶］　上田ＲＣ　林　秀樹　会長

相変わらず暑い日々が続いております。

先程、別室において、折井正明ガバナー、西入悦男ガバナー補佐、日石博之2600地区会計長と懇談をいたしました。

その席で、今年度の活動方針と共にロータリー活動の進め方など様々なご指導を賜りました。今後の上田ロータリークラブの活動に役立てていきたいと思っています。

本日は丸子ロータリークラブとの合同例会です。丸子ロータリークラブの皆様、ようこそお越しくださいました。今年度、約50年ぶりに例会場が変更となり、私たちも試行錯誤しながら例会を運営しています。よって、いたらない面があるとは思いますがどうかご容赦願いますようお願いいたします。

今日もよろしくお願いいたします。

［会長挨拶］　丸子ＲＣ　田中利幸　会長

こんにちは。

ガバナー公式訪問ということで丸子クラブ一同、歓迎申し上げます。

また、上田・丸子ＲＣ合同例会ということで上田クラブの皆様には会場の設営をしていただき、ありがとうございました。

上田クラブさんも例会場が移りましたが、丸子クラブも今期から例会場を信州国際音楽村に移しました。どうぞメークにいらっしゃってください。

年度の序盤にガバナー訪問を受けることは、とてもありがたいことだと思います

折井ガバナーは当初より熱い想いとして地区の優先行動にポリオ撲滅を訴えていらっしゃいます。地区補助金事業をポリオデーの事業に注力することは、ガバナーの英断であり、折井ガバナーだからこそ実現できたことと思います。

この機会に、特に入会間もない会員の皆様には、国際ロータリーのポリオ撲滅に対する活動の経緯や関わり方を充分理解され、誇りに思っていただきたいと思います。会員皆様には例年以上のポリオに対するご寄付をお願いいたします。

地区の方から古着DEワクチンを軸に開催される10月22日のポリオデーのイベントに県下各メディアへ取材依頼をしていただき、決定しております。

最後に１つだけ地区にお願いがあります。

あくまでも「ロータリー イコール ポリオ撲滅」です。決して「ロータリー イコール 古着回収」というイメージ付けにならないようお願いしたいと思います。

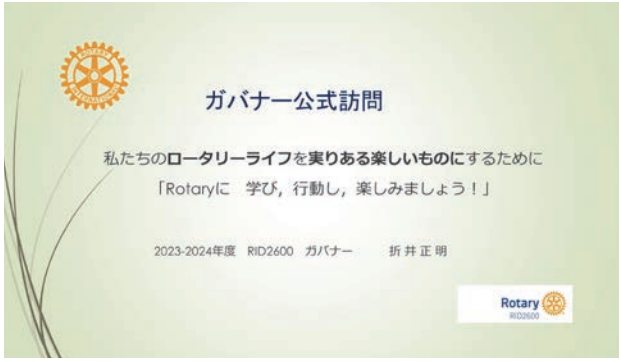
本日はよろしくお願いいたします。

●例会/毎週月曜日　12:30～13:30　●会場/上田高砂殿＝上田市天神2-2-2
●事務所/〒386-0024 上田市大手1-10-22 上田商工会議所内 ●TEL/0268-25-1039 FAX/0268-25-3711
e-mail：ueda-rc@oboe.ocn.ne.jp

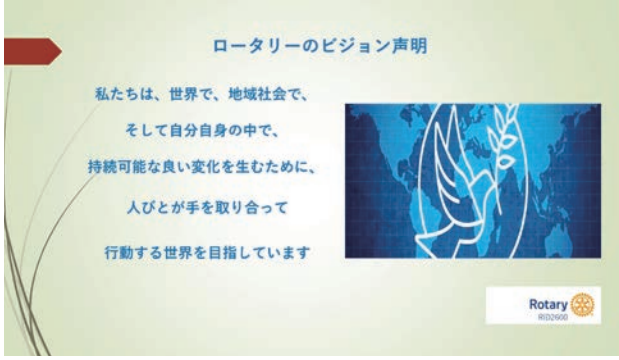
［ガバナー講話］

国際ロータリー第2600地区　折井正明　ガバナー

みなさん、こんにちは。今日は、「私たちのロータリーライフを実りある楽しいものにするために」というテーマで、また副題を「Rotaryに　学び，行動し，楽しみましょう！」ということで、2023-2024年度の国際ロータリー第2600地区でのロータリーライフを実りある楽しいものにしていくためのお話をさせていただければと思います。



ゴードン・マッキナリー会長は、今年１月に開催された国際協議会の開会メインセッションで**「世界に希望を生み出そう」**という2023-24年度のＲＩテーマを発表しました。そして、世界に希望を生み出すために重要な方法は**平和に重点的に取り組む**ことであり、過去１年間、ロシア軍による侵攻を受けたウクライナの人びとを支援するためにロータリー会員が行動してきたことに言及し、平和に重点的に取り組むことを通じて世界に希望を生み出すことを年度のテーマとしました。すでに、洪水で大きな被害を被ったパキスタン、トルコとシリアで起きた悲惨な震災に手を差し伸べる取り組みにをしています。また、ゴードン・マッキナリー会長は、これまでのアイデアや取り組みを**“継続”**し**前進**させることの重要性を強調しました。さらに、新型コロナウイルスの世界的流行などによって深刻化している**メンタルヘルスの問題**の影響を受けている人たちにも、ロータリー会員にも**希望**を与えるべきだと述べました。



このビジョンは、国際ロータリーの理事会と財団管理委員会によって2017年６月に承認されました。ビジョン声明が採択されて間もなく、戦略計画委員会はロータリーの新しい行動計画の立案を開始しました。2018年６月、新しい行動計画を推し進めるための戦略的優先事項と目的が策定され、理事会と管理委員会によって承認されました。

以来５年間、ロータリーの現在に至る極めて重要な指針、それがこのビジョン声明であり、継続し前進させるべきこれまでの主な取り組みは以下の通りです。

◆行動計画（THE ACTION PLAN）

国際ロータリーでは、行動計画を受け入れ、実行するための現実的な方法をクラブに提供することこそが、地域社会で持続可能な変化を生む最善の方法だと考えています。

そして、行動計画に盛り込まれるべき要素として、四つの戦略的優先事項の内容が次のように示されました。

●既知の成果と実証された証拠に基づいて奉仕プロジェクトを立案する方法について会員に話す必要があります。これが**「より大きなインパクトをもたらす」**という行動計画の最初の項目の前提になります。例えば、過去35年にわたってロータリーが心血を注いできたEND POLIO NOWポリオ根絶活動を見れば、その軌跡や実績はデータによって、また、映像やその他の資料によって実証されてきています。

●そして互いに私たちが奉仕するすべての人とオープンで、インクルーシブで、思いやりのある心をもって接すること、これが**「参加者の基盤を広げる」**という行動計画の二番目の項目に対応します。

●世代や国境を超えて活動し、多様な人々関係を築くためにあらゆる機会を探し求める、という三番目の戦略的優先事項が「参加者の積極的なかかわりを促す」ためになくてはならないことを意味します。

●最後に、世界に持続可能な変化を生む新しいアイデアや視点を進んで受け入れていくことで私たちの「適応力を高める」という行動計画の４つめの項目につなげていかなければなければなりません。

これら四つの戦略的優先事項に基づき継続し前進させるべきこれまでの主な取り組みをゴードン・マッキナリー会長エレクトが次の通りがあげています。

継続と前進の最優先項目はポリオ根絶の活動です。言うまでもなく、ロータリーは世界に先駆けてポリオ根絶活動を開始して35年、草の根の運動は世界に影響を与えました。

2026年の根絶宣言を目指していますが、今年から３年間は自然株由来の発症例がないことが、2026年の根絶宣言の条件です。予断をゆるさない厳しい状況ですが、であればこそ、私たちが最後のカウントダウンの当事者にならなければなりません。

継続と前進の次はロータアクトの地位向上です。

世界では、ローターアクトクラブはロータリークラブのパートナーとしてだけではなく、Rotary全体のリーダーシップを取り始めています。今年からローターアクト委員会は青少年奉仕委員会の下の小委員会としてではなく、独立した委員会となります。地区ローターアクト委員長は地区ガバナーが任命するロータリー会員ですが、地区ローターアクト代表は地区内クラブが選出する１名のローターアクト会員が務めます。そして、地区のローターアクト委員長と地区ローターアクト代表は、地区ローターアクト委員会の共同委員長となります。共同委員長は、委員会メンバーと協力し、クラブの最新情報を管理し、リーダーシップ研修会を計画し、地区の奉仕プロジェクトを調整するなど、ローターアクトクラブの支援に当たります。

次に、女児のエンパワメントです。

Rotaryのエンパワメントとは、手を差し伸べることだけでなく、それぞれが秘めている能力、才能を遮っているモノを取り払う取り組みと整理されています。メータ会長、ジョーンズ会長に続き。ゴードン会長エレクトは女児のエンパワメントを継続しつつ女性のエンパワメントに前進させようと呼びかけられました。私たちの地区では、まずは女性会員を増やす努力が大切で、次のＤＥＩにも関わってきます。

ＤＥＩを全面的にサポートすることは、単に会員数を増やすことを意味するわけではありません。ロータリーが本当に素晴らしい人たちから構成されていること、それが担保されるためにもＤＥＩは大切です。

ＤＥＩの最も重要な側面は、クラブをどこからであれ最高の人材、最高のアイデア、最高のパートナーシップでみんなを温かく迎え入れる場にしていくことです。多様な会員が入会しても、インクルーシブ(包摂的)な文化が培われていなければ、クラブへの帰属意識が持てずに退会してしまう会員が出るでしょう。また、親近感が持てずに入会をためらう人もいるでしょう。これは見せかけで批判を防いだりするために、少数派に属する人を何人かグループに含めるといった名目主義的な対応ではいけません。

●例会では卓話ゲストをどのような基準で／誰が選んでいますか。会員が自身の経験について話す機会を設けることで、クラブが各会員の価値を大切にしていることを示していますか。例会に誰が参加していますか。発言が少ない会員は誰ですか。

●奉仕活動ではクラブの奉仕活動に市民にも参加してもらったり、活動のアイデアを市民から提案してもらったりしていますか。

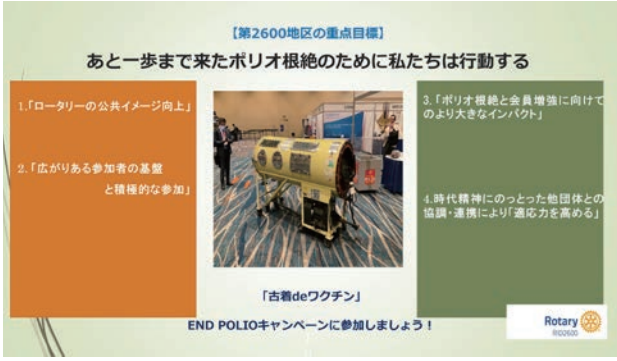
●地域社会の差し迫ったニーズに取り組んでいますか。地域社会よりも会員の満足感を満たすような活動をしていませんか。

このような観点からＤＥＩにアプローチしてみてはいかがでしょう。

私が当地区本年度のガバナーとして地区標語を**Let's send out the joy of Rotary in action, hand in hand!**「手をつなぎ行動するロータリーの喜びを発信しよう！」としましたのは、私たちが３年も続いたコロナ禍で多くの苦しみや会員減少の痛みを経験する中、今こそマッキナリーＲＩ会長と気持ちを一つにして、持続可能な良い変化をもたらすために手を取り合い共に行動することの喜びを実感し、またそのことを世の中に発信することが大切だと考えたからです。

そしてその行動とは、過去35年の長きにわたり国際ロータリーが世界の先駆けとして展開してきたポリオ根絶活動が最もふさわしいと思いました。私たちがその意味を改めて振り返り、2026年のポリオ根絶宣言を目指して最後のカウントダウンに自らがコミットすることを通じロータリーとは一体何をしてきたどのような団体なのかを改めて身をもって経験することで、私たちのロータリアンとしてのアイデンティティーを再認識することがまさに今なすべき継続と前進に他ならないと思えたからであります。

私たちがポリオ根絶に向かって手を取り合って行動する中に喜びを実感することができれば私たちの仲間が増えていくことへの希望が芽生えるのではないかと願うからでもあります。地区の基本方針を「ロータリー行動計画をポリオ根絶活動を通じて地区全体として明確に実現する」とし、新年度の重点目標を「あと一歩まで来たポリオ根絶のために私たちは行動する」と屋上屋を重ねるが如くに強調をいたしました理由はそこにあります。



あと一歩まで来たポリオ根絶のために私たちは行動する、という新年度の重点目標の4つのねらいについて説明して参ります。

①「ロータリーの公共イメージ向上」

ポリオ根絶活動はTVや新聞など様々なメディアを通じて発信し、また当年度の地区大会のメインテーマにも掲げます。メディアを通じての発信は地区の予算に広報活動を地区から一元的に行う計画です。また、「古着deワクチン」であっても例えば「END POLIOゴルフコンペ」であっても、古着deワクチン・キャンペーンをデザインしたTシャツを皆さんに着用していただくように地区で一括して準備いたします。後ほど、その枚数やサイズについて皆さんから申請していただくための手続きつきましては、地区副幹事さんから具体的な説明をしていただきますが、このような地区を挙げての一連の事業が相互に関連づけられ「ロータリーが今日までどんな事を重視して何をやってきた団体か」ということを私たちロータリアン自身が連携して行動する中で再認識しつつ、END POLIOキャンペーンを通じて、広く世の中により純粋に平和と希望を求める**ロータリーのあるべき公共イメージ**を遡及することを目指します。

②「広がりある参加者の基盤と積極的な参加」

インターアクトやロータアクト、青少年交換留学生や米山奨学生、学友会さらには、一般市民がポリオ根絶という共通の目的に向かってそれぞれに関与し参加することを通じてＤＥＩを実践しつつ「参加者の基盤を広げる」と「参加者の積極的なかかわりを促す」という行動計画の中の二つの要素の実現を目指します。

③「ポリオ根絶と会員増強に向けてのより大きなインパクト」

Ｒ財団の世界基金（ＷＦ）の1.5倍上乗せ政策と“ビル＆メリンダ・ゲイツ財団”の寄付額倍増契約を活用しＤＤＦ（Ｒ財団地区資金）や寄付の投入効果が最終的に4.5倍になる仕組みを利用してワクチン供給のための財政基盤

強化により大きく貢献しポリオ根絶への直接的な貢献度を高めます。END POLIOキャンペーン活動による公共イメージ向上と財政基盤への実質的貢献の相乗効果は更にその副次的効果の帰結として「会員増強」という「より大きなインパクト」を導くことが期待されます。

④時代精神にのっとった他団体との協調・連携により「適応力を高める」

多様な参加者が共に連帯感を醸成しつつEND POLIO NOWへの意識を共有し向上させることが出来るとすれば、その背景には必ずしやロータリーにおける基本理念や中核的価値観の普遍性がありますが、加えてＤＥＩやＳＤＧｓ特に環境・生命・事業などにおけるサステナビリティーに代表される私たちの時代精神(ムード)や希望があります。そうした時代精神や希望に私たちが適応していること、あるいはサステナビリティーのアイデアをより良く体現し、あるいは実現しつつある団体と協調し連携することで私たちの適応力をさらに高めましょう。認定ＮＰＯ世界の子供にワクチンを日本委員会や、そのアイデアの下で「古着deワクチン」事業を展開する日本リユースシステム株式会社といった団体や企業との協調や連携を例としてあげることが出来ます。

Ⅰ．クラブおよびグループ

①地区委員会への参加促進と地区重点目標への積極的な地縁的連携

②マイロータリーの登録60％以上とクラブセントラルの活用

③ローターアクトクラブ地位確立の支援

④ＤＥＩの理解促進と会員増強
（女性や若年会員の入会強化）

Ⅱ．地区委員会

①「継続」と「前進」への意識的・意欲的な取り組み
（次年度人事）

②地区方針・重点目標の実現のための機能的連携

③ローターアクトクラブ地位確立の支援

Ⅲ．寄付目標

①ロータリー財団への寄付

年次基金への寄付　１人150ドル

ポリオへの寄付　１人30ドル

（Ｔシャツdeワクチン参加＝８ドル）

平和センターへの寄付　１人200円

恒久基金への寄付　１クラブ1,000ドル

②米山記念奨学会への寄付は１人普通寄付金3,000円と特別寄付を合わせて２万円以上を目指す

Ⅳ．地区運営：「継続」と「前進」のためのニューノーマルの定着

①研修会・協議会・セミナー等におけるイン・パーソンvsオンラインのメリハリある運営

②次年度準備のための年間スケジュールの早期化

③伝統に縛られない運営と財政規模に見合った地区予算

私が「継続」と「前進」のためのニューノーマルの定着として、まず①の「研修会・協議会・セミナー等におけるイン・パーソンvsオンラインのメリハリある運営」を挙げました。また、②の次年度準備のための年間スケジュールの早期化、につきましては地区全体の充実したクラブ運営とそのサポートを目指すのであれば、また、Ｒ財団や青少年育成基金など補助金を活用するクラブ運営の充実を担保するためには「ロータリーは単年度」という考えを完全に払しょくし、継続と前進の仕組みを作っていかなければなりません。

そして③の「伝統に縛られない運営と財政規模に見合った地区予算」ですが、数年前まで優に２千名を超えていた我が2600地区の会員数は現在1,850名程度にまで減少し、地区予算は経常バランスの悪化に歯止めが利きません。それは先ほど申し上げましたように、一方で、コロナ禍により会員数がドラスティックに減少し多くの活動が制限され実施できなかったにも関わらず、あるいは新しいやり方を導入し、あるいはレジリエンスよろしく充実した委員会活動を展開していただいたことにより相対的に一定のコスト増の状況となったからでありますが、要は、これまでと同じようにすべきこと、できることとできないことに仕分けして、変化に適応する中で前進していかなければならないわけであります。具体的に申しますと私の年度では従来紙ベースで行ってきたもののデジタル化にチャレンジいたします。

[幹事報告]　　飯島幸宏　幹事

1．地区事務所
　佐久ＲＣさんのクラブ戦略計画書配布について
　秋の「第21回ロータリー全国囲碁大会」のご案内
2．上田市社会福祉協議会
　第17回上田市福祉大会の協賛について（依頼）
3．「小さな親切」運動本部
　令和５年「小さな親切」運動賛助会費納入について（お願い）
4．豊かな環境づくり上小地域会議
　信州豊かな環境づくり県民会議会報について（送付）

[ニコニコＢＯＸ]　　成澤　厚　委員長

日石博之さん（松本ＲＣ）　飯島幸宏さん　石井懋人さん　出田行徳さん　伊藤典夫さん　内河利夫さん　小幡晃大さん　上島孝雄さん　窪田秀徳さん　桑原茂実さん　小林秀茂さん　小山宏幸さん　斉藤達也さん　酒井喜雄さん　酒巻弘さん　滋野眞さん　島田甲子雄さん　春原宏紀さん　関啓治さん　関勇治さん　滝沢秀一さん　田邉利江子さん　土屋勝浩さん　土屋陽一さん　成澤厚さん　林秀樹さん　布施修一郎さん　保科茂久さん　増澤延男さん　三井英和さん　柳澤日出男さん　柳澤雄次郎さん　横沢泰男さん

本日喜投金　33名　￥ 33,000
累　計　　￥336,000

[例会の記録]

司会：内河利夫　会場・出席委員長
斉唱：国歌「君が代」
　　ロータリーソング「奉仕の理想」
●ゲスト紹介
●ガバナー補佐挨拶
●上田ＲＣ・丸子ＲＣ会長挨拶
●幹事報告
●ガバナー講話

[ラッキー賞]

折井正明さん（滋野眞さんより雪中梅）
日石博之さん
　　（出田行徳さんよりオニザキの胡麻せんべい）
長島三男さん（丸子ＲＣ）
大森美和さん（丸子ＲＣ）

[出席報告]　　内河利夫　委員長

	本日	前々回（8/7）
会　員　数	53	53
出席ベース	51	51
出席者数	45 コロナ欠席1	42
出席免除(b) （ ）内は出席者数	5(3)	5(3)
出席免除(a)	0	0
メークアップ （ ）内は Make up 後		0(42) コロナ欠席2
出　席　率	90.20	86.27

[本日のメニュー]

●すきやきご飯　●なすのオランダ煮
●ほうれん草と油揚げのお浸し　●スモークサーモン
●塩ネギエリンギ　●ひじき煮　●抹茶のミニケーキ

[次回例会予定]

９月11日(月)　会員卓話　柳澤雄次郎社会奉仕委員長

（９月４日発行）
【会報担当】　関　勇治　副委員長